

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-11-10

## 甲第九号

---

(発行年 / Year)

1910

三〇五伊一一七二一一七四西一一二五一一二六獨一章一  
四一一四二獨章一三三普國法一部四章一六四一六五一六  
七索一一五

第三百三十七條 期限ハ反對ノ證據ナキトキハ債務者ノ利  
益ノ爲メニ定メタルモノト看做ス

期限ノ利益ハ之ヲ拋棄スルコトヲ得但之カ爲メニ相手  
方ノ利益ヲ害スルコトヲ得ス

(參照)財四〇四佛一一八六蘭一三〇五一一三〇六伊一一七四  
一一七五西一一二六一一二七

第三百三十八條 左ノ場合ニ於テハ債務者ハ期限ノ利益ヲ  
主張スルコトヲ得ス

- 一 債務者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 二 債務者カ擔保ヲ毀滅シ又ハ之ヲ減少シタルトキ
- 三 債務者カ其約シタル擔保ヲ供セサルトキ

(參照)財四〇五商九八八佛一一八八蘭一三〇七伊一一七六  
西一一二九白草一一八六

# 甲第九號

明治三十二年四月廿五日配付



## 第五章 期間

第三百二十九條 期間ノ計算法ハ法令裁判上ノ命令又ハ法

律行爲ニ特別ノ定アル場合ヲ除ク外本章ノ規定ニ從フ

(參照)モンテチゴロ六三二九八獨二章一五四

第四百十條 期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ即時  
ヨリ之ヲ起算ス

(參照)民訴一六五刑訴一五一項モンテチゴロ九九七八

第四百十一條 期間ヲ定ムルニ日週月又ハ年ヲ以テシタ  
ルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但其期間午前零時

ヨリ始マルトキハ此限ニ在ラス

(參照)證九九二項三項商三〇九民訴一六五刑四九二項刑訴

一五一項佛二二六〇澳商三二八同刑訴六蘭一九九九一項

同民訴八一項伊二一三三一項同刑三〇二項瑞債務法八八

一號八九一五〇グター一六六四モンテチゴロ六三二九八

〇西一九六〇三號同商六〇白草二三八九同千八百七十八

年四月十七日法二四獨二章一五五同商三二八同民訴一九

九同刑一九同刑訴四二索八七英千八百七十五年勅五七號

一二印出訴期限法一二

第四百十二條 前條ノ場合ニ於テハ期間末日ノ終了ヲ以

テ期間ノ滿了トス

法定又ハ慣習ノ取引時間アルトキハ末日ノ取引時間ノ

終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

(參照) 九二二項四項商三〇八三一刑四九二項佛二二六  
一澳商三二八一號三三二蘭一九九九二項同民訴八一項伊  
二一三四瑞債務法八八八九九二一五〇、ヅワー一六六四、  
ンテチゴロ六三一、九八〇、西一九六〇三號白草二三八九二  
項獨二章一五六同商三二八一號三三二、同刑一九八七英  
千八百七十五年勅五七號一二

第四百十三條 期間ヲ定ムルニ日ヲ以テシタルトキ其末

日カ大祭日、日曜日其他ノ休日ニ當タルトキハ其日ニ取  
引ヲ爲ササル慣習アル場合ニ限り其翌日ヲ以テ期間滿  
了スルモノトス

(參照) 商三一、民訴一六六刑訴一五一項澳商三二九同刑訴  
六瑞債務法九〇一五〇、モンテチゴロ九八四九八五獨商三

二九同民訴二〇〇二項同刑訴四三二項英千八百七十五年  
勅五七號二

第四百十四條 期間ヲ定ムルニ週月又ハ年ヲ以テシタル

トキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス

週月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ最後ノ週  
月又ハ年ニ於テ其起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ期  
間滿了スルモノトス但月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル  
場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其月ノ末日ヲ  
以テ滿期日トス

(參照) 九九一項商三〇八民訴一六六一項刑四九刑訴一五  
二項唐名例律稱年者候澳商三二八二號伊刑三〇二項瑞債  
務法八八二號三號一五〇、ヅワー一六六五モンテチゴロ九  
七八九七九二項九八一、西商六〇、白草二三九〇、獨二章一五  
六二項一五九同商三二八二號同民訴二〇〇一項同刑一九  
同刑訴四三一項索八三八五英千八百七十五年勅五七號一